

西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

大西 規之

新聞記事等から

最近読んだ新聞や雑誌の記事から「なるほど」と共感したものを選んでみました。①では、学校は「生きる力」を学ぶところだと長い臨時休校で感じた中学生の投稿。②では、スマホの使い方について、「発言が相手を傷つけないか」考えてほしいという内容。③では、相手に自分の話をよく聞いてほしいければ、「聞き上手」にならなければならない。コロナ禍で、うまく人間関係が築けず心が不安定になっている人もいませんか。安定した心を保つためにも、色々な人の意見を参考にしてほしいと思います。

①休校で気づいた、学校へ行く意味

(朝日新聞朝刊 中学生14歳 女性)

「新型コロナウイルスによる休校が始まってから2週間超が過ぎた。学校には行けない寂しさもあるものの、私は何不自由なく生活している。それは、周りの大人が、なるべく日常生活に支障がないようにと力を尽くしてくださっているからだ。例えば勉強は学校からの課題や教科書、それに塾などがネットで無料配信する映像授業なども見ることができる。友だちともメールし合ったり、遊んだり。読書や部活の個人練習など好きなことに充てる時間も生まれた。学校ですることが家で個人でもできるなら、わざわざ通学する意味はなんだろう。今、学校生活と大きく違うのは「嫌い」なものに触れなくなった点だ。学校に行けば苦手な人と顔を合わせ、嫌いな教科も学び、時に退屈なでも、時間を過ごすこともある。でもその苦しみや雑味も含めた日々は、何にも代えがたい味わいがある。好きなものばかりを選び取るのは良くないこと。学校では勉強だけでなく、人との関わりや課題を乗り越える力、生きていくために必要な力も学ぶのだと、休校体験から気づいた。余裕がなく、騒がしくて息苦しいほどのあの日々が愛おしく、また、今を少し物足りなく思っている」

②その発言 傷つけない？

(朝日新聞朝刊 大学生19歳女性)

「スマートフォンとSNSの普及で便利な社会になった反面、相手の気持ちを考える力がなくなっているように思える。私は中学校入学を機にスマホを持たせてもらった。当時から両親との約束は変わらない。「人を傷つけることは書き込むな」ということだ。当たり前のことと思っていたが、最近になって感じる。「傷つけるつもりはなかった」と思っている、相手が傷つくこともあるのだ。腹が立つか

らツイートしよう。あの子が嫌いだからLINEグループから退会させよう。そんな気持ち一つで、指一本で、人を傷つけてしまうことができる。簡単さゆえに、行動に責任を持てない人が多い。姿を現さなくても匿名で自由に発言できるSNS。しかし、その発言が相手を傷つけないか、タップする前に考えてほしい」

③話し上手は聞き上手 (ニューモラル第613号)

「昔から「話し上手は聞き上手」といわれます。初めから終わりまで、自分のことばかりを一方的に話し続けたなら、相手はうんざりしてしまうでしょう。どんなにうまく話しているように見えたとしても、それでは「話し上手」とはいえませんが、みずから「話を聞く側」に回り、温かい関心を持って相手と向き合う。そんな「聞き上手」の人になれば、相手も心を開いて、こちらの話によく耳を傾けてくれるようになるでしょう。そのとき、本当の会話が成り立っていくのではないのでしょうか」

使い捨てのビニル手袋を寄付していただきました

稲野小学校地区自治協議会さまから4月に寄付をいただき、先日学校だよりとホームページで紹介しましたが、吹奏楽部の楽器を購入させていただきました。それに加えて、この度「使い捨てのビニル手袋」を6,000枚寄付していただきました。6月の給食再開時から、新型コロナウイルスの感染予防をするために、給食当番の生徒は食器を持つ手に使い捨てビニル手袋をはめておかずやご飯をよそっています。毎日、手袋が84枚ずつ使用され廃棄されていきます。現在、マスクは以前に比べると手に入りやすくなっていますが、使い捨て手袋が入手しにくい状況にあります。手袋を使うことで、生徒が安全・安心に給食をいただくことができます。本当にありがとうございました。

ホームページを 適宜更新中！！

